

平成26年第1回定例会は、2月26日から21日間の会期で開かれました。議案31件（議員提出議案1件含む）、報告1件、同意4件が上程され、議員提出議案1件は否決、その他は原案のとおり可決されました。

平成26年第1回定例会の開会に当たり、小山田市長が市政運営の基本方針と所信の表明をしました。（以下は抜粋及び要約して記載しています）

新市が誕生して10年という節目を迎えるにあたり、改めて先達に感謝し、その足跡に学びながら、うま年という本市に馴染みの深い年に、未来へ向けて大きく飛躍できるよう、決意を新たに「元気な十和田市づくり」に全力を尽くします。

#### 【平成26年度の主要施策】

市民交流プラザのオープン、（仮称）教育プラザの一部供用開始、平成21年8月に国内で2番目に認証を受けた「セーフコミュニティ」の再認証取得、市制施行10周年記念事業（まちなみ模型製作事業、オリジナルナンバープレート作成事業、十和田市長杯全国パークゴルフ交流大会創設など。）

#### 【特別枠事業については2つの柱によって進める】

- ① 「元気な十和田市の実現に関する取り組み」では「農業振興」「観光振興」「市民協働のまちづくり」「市民の健康づくり」を掲げる。（例：農業の6次産業化支援、プロジェクションマッピングの実施、市民活動支援事業の拡充、健康寿命の延伸）
- ② 「日本一を目指した特色のある子ども教育の取り組み」では、「特色のある教育活動」「英語教育」「講演会の開催」を掲げる。（例：小中学校における特色ある教育活動の支援、実用英語技能検定料の助成、著名人を講師に迎えた講演会の実施）

## 平成25年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ1億441万6千円を追加し、それぞれの総額は309億1,846万1千円となる。歳出の主なものは、固定資産税及び国民健康保険税に係る過誤納金補填金等、中央病院への特別支援など。

### 主な質疑

**Q** 平成23年第1回定例会において、中央病院の不良債務解消のための約15億4,700万円の支援及び収支改善のための企業債の元利償還額の支援（平成24年度まで）などを決定した際は、支援するのはこれが最後との説明だったはずではないか。

**A** 病院事業への支援については、平成25年度の企業債の利息分をもって最後にすると言ってきました。このことは基準外の支援を担保したままでは、経営努力による健全化が遅くなるものと判断し、自助努力を期待するという思いがありました。今回の基準外の支援延長については、経営状況が好転しない要因が医師不足によるもので、その影響をカバーすることができないと判断したものです。このことから今年度も企業債の元金償還分について支援するものです。また、今後3カ年程度は支援が必要と考えています。

## その他可決した主な議案

- ◇協働による狭あい道路の拡幅整備の推進に関する条例の制定  
（市及び市民が協働して狭あい道路の拡幅整備を推進することにより、市民の安全並びに良好な市街地の形成及び住環境の確保を図るためのもの）
- ◇市民交流プラザ建築工事請負契約の一部変更  
（技術者、労務者等の人員不足及び資材調達等の難航等により工期内の完成が困難になったことから、工期を平成26年3月20日までから平成26年9月30日までに変更するもの）
- ◇財産の取得  
（観光拠点施設として活用するため、株式会社十和田湖観光汽船が所有していた、十和田湖遊覧船ターミナルの建物を5,250万円で取得するためのもの）
- ◇教育委員会委員の任命  
（教育委員会委員1人が任期満了となるため、新たに大友美千代（おおともみちよ）氏を任命するためのもの）
- ◇固定資産評価審査委員会委員の選任について  
（固定資産評価審査委員会委員3人全員が任期満了となるため、引き続き竹ヶ原克哉（たけがはらかつや）氏と矢倉陽悦（やくらようえつ）氏を選任するとともに、新たに成田秀男（なりたひでお）氏を選任するためのもの）